

2024年11月
新センター開設

古河センター始動

The Open TalkS
2024 Nov
Vol.177

OTS北関東進出

1986年に現臨海センターで開業して以来、一貫して東京都東エリア南部に位置する江戸川区・江東区で倉庫業を営んできました。理由はいくつかありますが、一つは都心からのアクセスの良さ。お客様であるアパレル企業の多くは都心にオフィスを構えているため、容易に行き来できる距離にある点が大きなメリットになります。二つ目は労働力確保という観点です。所謂倉庫業と違って、倉庫内加工がメインとなるOTSは多くの人手を必要とします。そのため人口が非常に多いこのエリアで事業を拡大してきました。

そんなOTSですが、この度東京から離れて、茨城県の古河市に新センターを開設いたしました。センター名は地名そのまま「オーティーエス古河センター」。関東平野のど真ん中、本社から直線距離でも63キロ離れたこの地に、なぜセンターを開設したのか、どんなメリットがあるのかをレポートしたいと思います。



1

1. 古河センター正面外観。内部は3階構造となり、トータルで約1,100坪の倉庫となっています。近隣には多くの飲食店や大型ホームセンターがあり、働く人達にとっても優しい環境となっています。2,3. 以前はスラックスメーカーの自社物流センターとして稼働していたため、倉庫内にはハンガーレールやZラック等、ファッション物流に必要な設備が整っています。



3

センターの特色は？

立地的には『東北道/加須インター』『圏央道/五霞インター』が近く、物流には有利な場所となっています。茨城県という立地から土地代が安く、東京に比べて割安なスペース料金でご利用いただける点は、荷主様にとって大きなメリットといえます。

物流設備についても適宜投資をしていく計画ですが、現状ではX線検針機の設置はなく、また品質管理部門も当面は常駐しないため、インポート商品の物流は現時点では対応が難しいということです。保管や入出荷といった基本的な物流サービスはもちろん提供可能となりますが、料金やサービス詳細は左記の営業担当にお問い合わせください。

お問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

03-5605-5515

平日 9:30 ~ 18:00
担当：櫻庭、都筑

WEBでのお問い合わせ



24時間受付

古河の歴史 HISTORY OF KOGA

古河公方と享徳の乱

室町幕府を開いた足利尊氏のひ孫のさらに孫、第五代鎌倉公方改め、初代古河公方の足利成氏（しげうじ）をご存じでしょうか。

日本史の中で古河の地名がフィーチャーされるのは、この古河公方が唯一ではないでしょうか！？

そんな古河のスーパースターとも言える足利成氏を軸に、古河の歴史をほんの少し振り返ってみたいと思います。



足利成氏 Shigeuji Ashikaga
(1438 ~ 1497)

古河公方を説明するには、まずその前身である鎌倉公方について説明しなくてはなりません。1338年に足利尊氏が鎌倉幕府を滅ぼし、京都に室町幕府を開きました。

交通手段も通信手段も乏しい時代、幕府といえど日本全国を治めることは難しく、日本を関東より西と東でわけ、西は幕府が、東は鎌倉公方という役割を置き、治めさせる形をとっていました。

幕府の東日本支店とも言える鎌倉公方ですが、本店へのコンプレックスか、設立当時から反抗的な態度で、あまり幕府との仲は良くありませんでした。

さらに鎌倉公方の右腕となる番頭格の関東管領という職があるのですが、こちらも上司と部下という立場にもかかわらず、何代にもわたり殺し殺され大変仲が悪く、鎌倉公方は外にも内にもグダグダな立場の困ったちゃんでした。

先代の第四代鎌倉公方、成氏の父『足利持氏』も部下である関東管領上杉憲実と採めた挙句に敗北→切腹という最後となり、子である成氏が第五代の鎌倉公方の地位に就くことになりました。

そして関東管領職はなんの嫌がらせか、幕府の命により成氏の親を殺した上杉憲実の子、上杉憲忠が就くことになりました。

親の仇が一番の部下…現代の会社の人間関係を遥かに超えた私怨まみれの超ドロドロ。どう考えても上手くいくはずありません。

当然成氏はサラッと上杉憲忠を誅殺。幕府・鎌倉公方・関東管領の関係は修復不能な状態となり、関東の戦国時代の始まりと言われている【享徳の乱】に突入していきます。

陣営としては【幕府+関東管領】VS【鎌倉公方成氏】。成氏も勇戦しますが、やはり旗色が悪く関東の北から関東管領の上杉氏、南からは足利將軍家の親類である今川氏に攻め立てられ、最後には鎌倉を追われてしまいます。

鎌倉を逃れて本拠地と定めたのが古河の地！鎌倉を追い出されたため鎌倉公方を名乗るのはどうかと思ったのか、1455年に古河公方が成立します。

その後も採め事は全く取まらず、延々とゴタゴタしますが、成氏の死後、本格的に戦国時代へと突入し室町幕府の権威が失墜していくに従って古河公方も自然消滅していきます。

関東管領もいろいろあって上杉氏の家臣格であった長尾景虎に引きつがれ、その後かの有名な上杉謙信と名を改めます。

戦国時代には様々な武將がこの地を支配しますが、最終的には徳川の世となり、古河藩として平和を迎えるのでした。

室町時代の困ったちゃん、古河公方。そんな歴史が古河にはあるのです。



5



4



6

4. 建物南側には40フィートコンテナに対応したトラックゲートが2ゲート設置されています。
5. 車で15分程の距離に、関東4県にまたがる日本最大の遊水地『渡良瀬遊水地』があります。
6. 古河で有名なのは毎年夏に開催される古河花火大会。毎年2万発の花火が打ち上げられる関東でも有数の花火大会。三尺玉も打ちあがる茨城県の大イベントです。

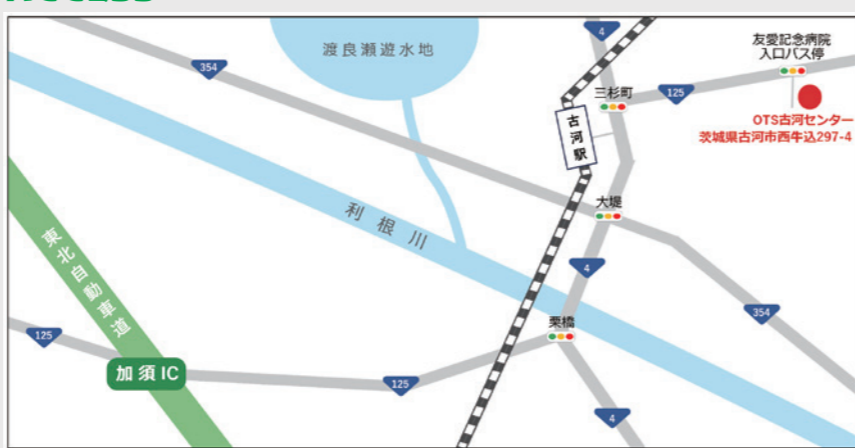
今後の展望！

動き始めたばかりのOTS古河センター。すでに既存のセンターから古河センターへ移動される予定のお客様もいるとのことですが、取材に行った先月12日時点では、まだ商品が何一つない、まっさらな状態でした。サービス面でいくつかの制約があるセンターではありませんが、条件が例えばOTSの高品質な物流サービスを、割安なスペース料金で提供できる、画期的な試みだと感じました。古河センターを皮切りに、地方進出が進むのか？唯一のサテライト倉庫として活躍していくのか？今後が非常に楽しみになりました。

古河市の魅力♡

関東平野のど真ん中。関東の中心地といっても過言ではない？茨城県古河市。魅力的なスポーツは数多くありますが、センターに近い有名スポットと言えば渡良瀬遊水地！3300ヘクタールもある日本最大の遊水地です。お散歩やサイクリングに最適！土日のレジャーにいかがでしょうか。もう一つ紹介したいのは古河花火大会。地方の花火大会は個人的に超おすすめ。高い建物がないからどこからでも大迫力で花火が見れちゃうのです。のんびりとした時間が過ごせる古河市。お休みの日に探索してはいかがでしょう？

ACCESS



🚗 お車でお越しの方

東北自動車道/加須IC → 国道125号線を栗橋方面へ15分 → 国道4号線を左折（古賀方面へ15分） → 国道4号線三杉町交差点右折（国道125号線下妻方面へ10分） → 友愛記念病院入口バス停信号を右折

🚗 電車/バスでお越しの方

JR宇都宮線 古河駅下車 → 茨城急行バス（諸川行き・北茂呂車庫行き・友愛記念病院行きのいずれか15分乗車） → 友愛記念病院入口バス停下車 → 徒歩3分